

活動報告

『夫婦で妊活！』第2回男性の不妊について知ることからはじめよう。

というテーマの市民公開講座を開催いたしました。
大勢の方にご参加いただきありがとうございました。

特別講演として、社会医療法人信愛会啜生会脳神経外科病院泌尿器科部長で当院男性不妊外来の担当医で在られる増田裕先生をお招きし、「知っておきたい男性不妊とその治療」という男性不妊をもたらす様々な原因と治療となる部分をお話しいただきました。

普段見ることのできない映像を用いて男性不妊の原因、精索静脈瘤や精巣内精子採取術など、見聞きすることのない内容であったこともあり、とても貴重な時間でした。夫婦で妊活というテーマからも、どちらに原因があったとしても、お互いに協力して治療を受け、夫婦で助け合ってこそ妊活だと思いました。

禁煙するという身近なところから改善していくことが妊娠しやすい身体づくりに繋がるとのことです。

当院 院長からは、精液検査の所見について、○×の質問形式も交えたお話で、例えば精子も老化するという女性側だけの問題ではありませんよ。と解りやすく解説されました。まずは検査を受けてみましょう。いつ受診をしたらいいのでしょうか・・・思ったその時、今！でしょ。

当院 培養士長からは、精液検査について、当院の検査結果を踏まえたお話しでした。

【精液量】量が多くないと精子の数が少なくなるため、妊娠しづらくなります。

【濃度】1mlの精液のなかに、どれくらい精子が含まれているかで計測します。

【運動率】活発に動いている精子が精液のなかにどのくらい含まれているかを見ます。

【奇形率】正常な形をしていない（受精能力が低い）精子が精液にどれくらい含まれているかを見ます。

これらの検査項目ですべて基準を満たした場合、正常な精液であると考えられます。なんと、5～6割程度しか男性の精子が正常ではないので、半分弱の男性は精液検査で何らかの異常が見つかります。ただし、精液検査の結果はかなりの振れ幅があることでも知られています。結果が良くないという場合には、複数回の検査を受けることが推奨されます。

多くの男性の方にご参加いただきました。皆様がメモをとりながら熱心に聞き入る姿も見られ、ご参加いただいた皆様に妊娠と不妊について生活スタイルや体質改善や検査を受けることの大切さに興味を持っていただけた1日となられたことと思います。

第3回は7月9日「早く気づいて不妊症！」を、テーマに日本生殖医学会生殖医療指導医・専門医、日本遺伝カウンセリング学会臨床遺伝専門医で、当院遺伝子カウンセリング外来担当医の望月医師をお招きして、不妊症についてのご講演を計画しております。次回も皆様方のご参加お待ちしております。

